

はならあとサステナブル講座 →Map D

「環境」「食」「自然」「アート」をテーマに、持続可能な社会に向けてさまざまなレクチャーを開催。皆で楽しく学びませんか。
こあ期間中、毎日開催しています。
会場:旧天恵堂電気屋 | **定員:**各回15名(★は10名、▲は7組)
参加費:入場チケット1枚につき1講座無料で受講可能。講座のみ受講の場合は1講座につき500円。
予約:事前予約優先、空きがある場合のみ当日受付可能 | **申し込みフォーム:**上記QRコードから
詳細は公式WEBサイトをご覧ください

10月21日[金] 10:30-12:30
「電力の自給自足」
講師:大津いつお

10月22日[土] 10:30-12:30 | ▲
「身近なお花の寄せ植え講座」
講師:吉田朋紀(株式会社花の大和)
対象:小学生向け(※大人の付き添い必要)。1組につき講座料500円
又はチケット1枚が必要(別途材料費500円要)
※作った鉢植えはお持ち帰りいただけます

10月23日[日] 10:30-12:30 | ▲
「きもちをかたちにしてみるワークショップ」
講師:赤松加奈(こあ出展作家)
対象:小学生向け(※大人の付き添い必要)。1組につき講座料500円
又はチケット1枚が必要 | 持ち物:はさみ、水筒、汚れてもいい服
会場:当講座のみ旧荒木邸(※裏面Map5)にて実施

10月24日[月] 前半10:30-11:30 | 後半11:30-12:30
「安心有機素材で手作り生活〜ミニ味噌づくり」
講師:中島裕子(奈良県農民連)
定員:各回5名 | 企画協力:コープ自然派奈良
持ち物:持ち帰る味噌(一人およそ350-400g)が入る容器

10月28日[金] 10:30-12:30 | ★
「おしゃれにゆるエコふろしき講座」
講師:北浦由香、小澤京子
(特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会)

10月29日[土] 10:30-12:30 | ★
「できることを考えよう ジャブラニール活動お話し & 「ノクシカタ」刺しゅう体験会」
講師:高階悠輔(国際協力NGOジャブラニール)
持ち物:普通針、糸切りはさみ、刺しゅう枠(※なくても参加可能)

10月30日[日] 10:30-12:30
「未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話」
講師:原田禎夫(特定非営利活動法人プロジェクト保津川)



Hanarart Sustainable Lectures

はならあと Art Shop →Map A

自宅や職場にアートを飾ってみませんか?今年度こあ出展作家や、当芸術祭に縁のある注目作家の作品がお手頃な価格で購入できます。
会場:Art-Space TARN | **入場:**無料
出展作家:
赤松加奈 | Kana Akamatsu / 岩谷雪子 | Yukiko Iwatani / 牛島光太郎 | Koutarou Ushijima / 岡本奈香子 | Nakako Okamoto / 佐々木萌水 | Moemi Sasaki / 新野洋 | Hiroshi Shinno / たかはしなつき | Natsuki Takahashi / 奈良田晃治 | Koji Narada / 山本聖子 | Seiko Yamamoto / 葭村太一 | Taichi Yoshimura / ユージン・ソレル | Eugene Soler



Hanarart Art Shop

はならあとシネマ →Map B

「環境」「農」「気候変動」などをテーマにした映画の上映会を開催します。映画鑑賞を通じて、多角的に地球環境のことを学び、当芸術祭を楽しんでみませんか。
会場:MoriのGuest House 1階 | **定員:**各回15名
参加費:入場チケット1枚につき1作品500円(映画のみ鑑賞の場合1作品1,000円)、中学生以下無料
予約:事前予約優先、空きがある場合のみ当日受付可能
申し込みフォーム:上記QRコードから

- ① 10月22日[土] 13:30-15:30
「プラスチックの海」
上映100分 | 2016年
講師:宮坂正美、岡本典子
監督:クレイグ・リーソン
(花王グループカスタマーマーケティング株式会社)
- ② 10月29日[土] 13:30-15:30
「壊れゆく森から持続する森へ」
上映39分 | 2020年
監督:香月正夫
- ③ 11月5日[土] 13:30-16:00
「Final Straw 自然農が教えてくれたこと」
上映64分 | 2015年
監督:パトリック・ライドン&スヒ・カン



「キュレーター・アーティストトーク」
講師:内田千恵(こあキュレーター)

11月4日[金] 10:30-12:30
「キュレーター・アーティストトーク」
講師:内田千恵(こあキュレーター)



11月5日[土] 10:30-12:30
「大地と共にある丁寧な暮らしの中から見えてくる、子どもたちの姿」
講師:村上日苗(「なな色の空」店主)



11月6日[日] 10:30-12:30
「じわじわな、おうち」の活動
講師:松本梓(チアフル株式会社)

11月7日[月] 10:30-12:30
「植物と暮らす〜天然の薬湯作り〜」
講師:マエダチサト(里山文庫)

多くの科学者や識者が警鐘を鳴らす、海洋プラスチック問題。年間800万トンものプラスチックが海に捨てられているといわれています。海と共に生きる全人類必見のドキュメンタリー映画。

国土の約7割を森林が占める日本。「持続可能な林業」を目指し、適正な規模の森林をくもり返し開伐することで環境にも配慮した「自伐型林業」を進める人々、多方面からのインタビューを取めたドキュメンタリー映画。

日本・韓国・米国にて、自然農ムーブメントを牽引しているリーダーを含む自然農実践者たちが、彼らが自然農を通して見つけている自然や宇宙との関わり合い、そして人間の在り方・生き方を、美しい映像と音楽を背景に、静かに語りかけます。上映後、監督のパトリック・ライドン & スヒ・カン(City As Nature)としてはならあと2021こあ出展作家)と共同プロデューサー辻かおりさんのアフタートーク(オンライン)があります。

はならあとSUNDAYマルシェ →Map C

主に奈良県下で環境に配慮した生産者を紹介し、『はならあと』の来場者や天理市の地元住民のみなさんと交流できる場としてエコマルシェを開催。環境に配慮した手作り雑貨や食品などこだわりのお店が集まります。「ゴミを出さない」を目標に、出店者にはプラスチックフリー、無包装を願っています。来場者の皆様はマイバッグと持ち帰り用の容器をご持参ください。



昨年の「はならあとSUNDAYマルシェ」の様子 | 撮影:長谷川朋也

会場:天理本通り商店街の2箇所
入場:無料 | 期間中、毎週日曜開催
10月23日[日] / 10月30日[日] / 11月6日[日] 10:00-15:00
※詳しい出店者情報は公式WEBサイトをご覧ください。

はならあと団体パートナー展 →Map E, F

奈良県内で環境問題に取り組む企業や団体の活動を紹介するパネル展示。
会場:旧いらい洋品店1階 | Map E | **入場:**無料
出展企業・団体: 岡村印刷工業株式会社 / 市民生活協同組合ならコープ / 生活協同組合コープ自然派奈良 / 有限会社ポニーの里ファーム / 特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会 (NASO)

春日山原始林アートプロジェクト
会場:旧出口おもちゃ店 | Map F | **入場:**無料 | **出展団体:**春日山原始林を未来へつなぐ会

天理の空き家見学ツアー

11月6日[日] 13:00-14:00
当芸術祭の会場になっている4つの空き店舗を巡ります。建物に関する色々な質問もできるので、天理でお店を始めたい方や、アトリエをお探しの方にお勧めのツアーです。予約優先(上記QRコードよりご予約ください)参加には入場チケット(1,000円)が必要です。

スタンプラリー&SNS投稿キャンペーン開催

奈良をもっと楽しめる豪華景品プレゼント!
「こあ」「さてらいと」でこのリーフレットにスタンプを集めて、天理のインフォメーションでくじ引きに参加しよう。もしくはハッシュタグ #はならあと2022 をつけてTwitter / Instagramにご投稿ください。

◎新型コロナウイルス感染症感染予防対策を徹底して開催します。◎発熱や風邪の症状がある方は、参加をご遠慮ください。◎参加時はマスクのご着用をお願いします。◎今後の新型コロナウイルス感染症の拡大やその他の状況により、イベントを中止、または内容を変更する場合があります。

はならあと さてらいと

まちづくり団体が自らコーディネーターとなり、展覧会を開催する、本芸術祭のサテライトエリア。現代芸術展の他にも、地域と縁のあるアーティストや、地元学校と連携したプロジェクトなど、文化芸術をきっかけとしたまちづくりと空き家の利活用を目指して開催。



「甦る堂宇や古民家群とともに!」
2022年10月14日[金]-10月23日[日] | 10:00-16:00 | 会期中無休
入場料:無料

本年3月、重要文化財 稱念寺本堂・客殿の修理復原工事が12年の歳月と22億円の巨費を投じて見事に完成しました。寺内町今井の原点であり、シンボルである稱念寺の甦りは重要な歴史的建造物群保存地区今井町の真価を顕現するものです。歴史的価値の高い町において、一層輝きを放つアートを町に住む人々とともに実感しましょう!

主催:今井町町並み保存会
出展作家:藤田千代、佐生里佳、坂野真子、星伸二、鈴木貴美子、増田直城 他
会場:今井町内の町家(阿伽陀屋若林亭、今西長屋、大橋家、中西家、中町筋生活広場、他)インフォメーション:阿伽陀屋若林亭(橿原市今井町4丁目)
アクセス:電車=近鉄八木西口駅から徒歩約10分、JR畷傍駅から徒歩約13分、近鉄大和八木駅から徒歩15分
車=今井西環濠 駐車場、今井まちなみ広場駐車場(ともに有料)
地域連携企画:勝美会 箏コンサート(会場:藪内家)
サステナブル講座:期間中毎日開催 | 会場:阿伽陀屋若林亭 | 予約:事前予約優先 | 参加費:1回500円
柴田道雄「漆はコロナに強い」、中村左官「古民家と左官」、城者定史「大阪湾に潜り続けて20年」「海洋とプラスチック」、井上大工「古民家から学ぶ国産材の良さ」、若林稔「私の断捨離は技術の継承」、等、日時、予約方法などの詳細は公式WEBサイトをご覧ください。



地球に優しい エコロジカルな芸術祭

はならあと
2022
HANARART
2022
[はならあとこあ]
天理エリア
2022年
10月21日[金]-11月7日[月]
10:00-17:00 | 火-木休み
ただし、10月26日[水]、
11月3日[木・祝]は開催

「はならあと さてらいと」
橿原・今井エリア
2022年
10月14日[金]-23日[日]
10:00-16:00 | 会期中無休

奈良・町家の芸術祭
はならあと
主催:奈良・町家の芸術祭
HANARART実行委員会
共催:奈良県
English information available on website
hanarart.jp



About HANARART

「奈良・町家の芸術祭はならあと」(以下、「はならあと」)は地域価値の発掘作業を通して、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋ぐ、今ここから発信するアートプロジェクトで、今年で12年目を迎えます。

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」

「はならあと」は、2020年から環境問題をテーマに現代美術の視点から環境問題に我々がどのように向き合い、考え、選び、行動すべきかに焦点を当てた芸術祭を開催しています。我々の理念とする「古いものを大切に保存し継承する」これこそが今一番必要なものではないでしょうか。ここ「奈良」から発信していくことで変化を起こしていきます。

Core

はならあと こあ

ゲストキュレーターが企画し、実験的な現代美術の展覧会を開催する本芸術祭のメインエリア。地域性を再考察することで現代日本の課題を読み解き、未来に向けて、新しい価値を提案・発信。

やがて、その芽は花となる Before long, the sprouts will be flowers

本展「やがて、その芽は花となる」は、「そして、それはいつか土へと」(はならあと2020/榎原 今井)、「種を蒔く、それはすべてののはじまり」(はならあと2021/天理)に続く、3ヶ年を通して環境問題への関わりを主題とした展覧会の最終章です。

舞台は、昨年度に引き続き、宗教都市として知られる奈良県天理市。天理駅前より東に約1kmにわたるアーケードの商店街には小売店、飲食店、サービス店、天理教関係の店など約180の店舗があり、その中に点在する空き店舗や空き家にて5名の作家の作品を個展形式にて発表します。

出展作家の5名は、絵画、彫刻、インスタレーションと、作品の表現方法は異なりますが、それぞれの作家が奈良という土地において綿密なリサーチを行い、自らと対峙し作品を制作してきました。「はならあと」が大切にしてきた、「古いものを大切に保存し継承する」という理念と等しく、それぞれの場所に根ざした物語

キュレーター | Curator

内田千恵 Chie Uchida

大阪府生まれ、奈良県在住。日仏現代美術団体Art 7ten (アルセブテン) 運営。大阪芸術大学卒業。ロンドンメトロポリタン大学院アートマネジメント専攻修了。帰国後、コマージュルキャリアーで8年間勤務。フランスのアートシーンをリサーチするため現地に1年間滞在。現在は、奈良県に移住し、日仏の若手美術家を紹介するべく活動している。2020年より「はならあと」こあキュレーター。

コーディネーター | Coordinator

たかはしなつき (一般社団法人はなまる) Natsuki Takahashi

天理エリア Tenri Area

Hanarart Core

2022年10月21日金-11月7日月 | 10:00-17:00 | 火-木休み | *ただし、10月26日[水]、11月3日[木・祝]は開催

10月24日[月]のみ天理市民の方は全会場無料でご覧いただけます

入場料:有料

大人1,000円、学生500円、中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方及び同伴の方1名無料 ※各種証明書提示

- ◎会期中全日、全会場再入場可能。
- ◎チケットをご購入いただくし、サステナブル講座(1講座500円)が1講座分無料、はならあとシネマが半額(1作品500円)でご覧いただけます。
- ◎10月24日[月]天理市民の方は住所が記載された公的証明書を所持の上、インフォメーションまでお越しください。
- ◎チケットは土に埋めると植物が芽吹く種が入った紙で制作しており、ゴミになりません。

会場:天理本通り商店街の元商店・空き家

チケット販売場所:インフォメーション(Art-Space TARN/奈良県天理市川原城町326-1) | Map A

アクセス:電車=JR天理駅・近鉄天理駅から徒歩9分 | 車=天理駅前広場平面駐車場など(有料)

こあ出展作家

Core Artists

奈良田晃治 Koji Narada | → Map 1

1982年大阪生まれ、2006年大阪芸術大学を卒業。2009年より現在まで関西を中心に絵画作品の発表を続けている。旅先の風景や古い写真に写る人々をモチーフにして、画面上における地と図の関係や、グレースケール技法によって生まれる偶然性を利用した作品を制作してきた。2019年より日韓芸術通信実行委員会代表。

会場:旧洋服店 | 作品名:火の記憶

天理市山田町にて毎年行われている「虫送り」をモチーフにした作品を展示する。夕暮れ前に寺社を出発する人々の列は太鼓と鉦(かね)を鳴らし、松明の炎を揺らめかせながら田んぼの畦を歩いていく。駆除された害虫を供養し、豊作を願うこの行事は、町の人々の原風景として受け継がれるのだろう。記憶を呼び覚ます媒介として火に着目し、そのゆらぎを一筆一筆なぞることで風景に迫りたい。



Photo: Takami Kuroda ©Kyogo Bawa of Culture Project, Kyono Art Center

を起点とし、作家独自の視点から表現されています。過去2年間展覧会と同じく、作品の主な素材は自然素材、もしくはリサイクルされたものです。同時に、環境に負荷をかけない制作方法を選択することにより、素材について考察し、人間と自然との関わりを探索しています。

太古から守られてきた私たちの住む地球は、循環システムが崩れ始め、国連の報告によると、今後数十年で、およそ100万種の生物が絶滅するおそれがあるとさえいわれており、自然環境問題は日々深刻さを増しています。その問題について個々が考える時、あまりにも巨大な壁のようで、小さな取り組みは為す術もないとさえ感じてしまいます。

しかし、未曾有の状況下でもあったこの3年間、わたしたちは作家とともに土を耕し、手探りの中、種を撒いてきました。この展覧会が、人を繋ぎ、小さな芽となり、やがて大きな花となって未来へと繋がることを信じて。



《薬草たちの囁き ヤマトワケ・婦人薬》2022

岩谷雪子 Yukiko Iwatani | → Map 3

1958年札幌生まれ、高知市在住。武蔵野美術大学日本画科卒業。植物による立体、映像、インスタレーション等の作品を制作。彼ら(植物)から感じたものをできるだけ損なわぬよう気をつけながら、彼らの魅力的な姿をアートとして再構成し、私達の周りには存在しているたくさんの生命の声を聴く、或は彼らを感じるための場を作っている。

会場:旧青果店 | 作品名:薬草たちの囁き—Whispers of Medicinal Plants—

日本書記に飛鳥時代より薬猟がされたと記述があり、古(から)そして今も薬やその原料の生産が盛んな奈良。そこで今回は、薬をキーワードに植物を集めました。漢方で言うところの医食同源。健康な身体を作る野菜を売っていた旧青果店で、遠く原始の時代より薬効という恩恵を我々に与えてきた植物たちが作品となります。



《Imitation or mimic》2021 撮影:大槻智央

葭村太一 Taichi Yoshimura | → Map 4

1986年兵庫県生まれ。日常に溶け込んでしまった“痕跡”に焦点を当て、その奥に存在するであろう目には見えない不確かな部分から作品を制作している。忘却し消えゆくものの時間を保存し、時間感覚の本質を問いかける。

会場:旧サーフショップ | 作品名:Daddy's Revival

かつて天理市の街に「Daddy's」というサーフショップが存在した。Daddy'sは長きに渡り愛された後、2017年に閉店した。Daddy'sを期間限定で復活させることで、私たちを取り巻く環境に起こるサイクルを見つめ直せるかもしれない。私はそんな思いでサーフボードを作り始めた。



《いのちのかたまり》2022 730×610×30 mm | アクリル、キャンバス、パネル

赤松加奈 Kana Akamatsu | → Map 5

1990年生まれ、奈良県在住。2015年京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻 修了。群馬青年ビエンナーレ2019大賞受賞。結婚し農業をする傍ら絵を描き、また、高校やフリースクールなどで子どもたちと絵を通して交流してきた。農業風景の中にある生と死、そしておおかから切実な周囲の人々の姿を描いている。

会場:旧荒木邸 | 作品名:今から、生まれる。

「環境」と聞くと先行きの暗さに、ずーんと重くなった。誰かの「いらなくなったもの」を使うことにした。だけど純粋に、いいな、と思うもの以外使いたくないなと思っていた。ずーん。海辺に打ち上げられたいろんなもの。誰かが使っていた、クマノスの朱色。ずっしりと重い油絵具。おばあちゃんの背い砂精壺。いろんな出会いと巡ってきたモノの歴史にドキドキした。私の「ずーん」はとても軽くなっていた。

Before long, the sprouts will be flowers

スタンプラリー Stamp Rally

Map

A i

Art-Space TARN はならあと Art Shop Hanarart Art Shop [インフォメーション] [チケット売り場]

B

Mori Guest House I階 はならあと シネマ Hanarart Cinema

C

はならあと SUNDAYマルシェ Hanarart SUNDAY Marché

D

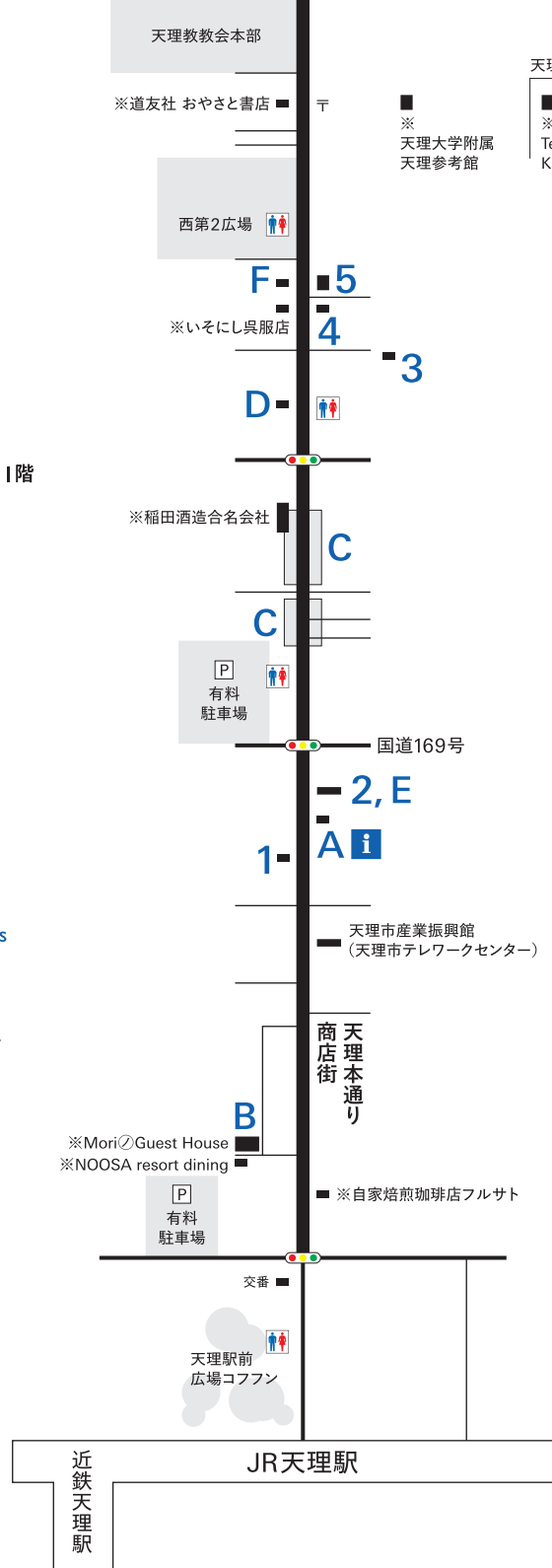
旧天恵堂電気屋 はならあと サステナブル講座 Hanarart Sustainable Lectures

E

旧いわい洋品店 I階、団体パートナー展 Hanarart Partners Project Booth

F

旧出口おもちゃ店 団体パートナー展 Hanarart Partners Project Booth



※MAPに記載のお店は、「はならあと」協賛店です。別紙の「協力店舗サービスマニュアル」をお持ちいただくと各店舗にてサービスが受けられます。

協賛

Daiwa House 未来をつなぐ、心をもむすぶ。 東海東京証券

大和証券 SMBC日興証券 ならコープ 野村証券 天然大和温泉 奈良健康ランド 奈良プラザホテル

Skater スケート株式会社 MUFG 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

一生運のパートナー 第一生命 SMBC 三井住友銀行 奈良信用金庫 中央信用金庫 大和信用金庫 Dai-ichi Life Group 岡村印刷工業株式会社

(一社) 今井町大和観光局、ホテル尾花、ヤマヤ株式会社、やまとびと株式会社
阿伽陀屋 若林亭、いそにし呉服店、稲田酒造合名会社、大村酒店、道友社 およさと書店、cafe Hackberry、珈琲の富田屋、自家焙煎珈琲店フルサト、四季彩葉 崋風、有限会社スープ、ダイケン商事、チアフル株式会社(jiwajwi)、Tea House KURINOKI、天理市役所部長会、NOOSA resort dining、ヒューマンヘリテージ株式会社、みずほ証券株式会社、Mori Guest House、若林靴下仕上加工所

助成 公益財団法人朝日新聞文化財団
団体パートナー 岡村印刷工業株式会社、春日山原始林を未来へつなぐ会、市民生活協同組合ならコープ、生活協同組合コープ自然派奈良、特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会(NASO)、有限会社ポニーの里ファーム

商品協賛 岡村印刷工業株式会社、ダイドードリンコ株式会社、チアフル株式会社(jiwajwi)、株式会社花の大和、株式会社南都木材産業、JWMARRIOTT 奈良交通株式会社、奈良醸造株式会社、有限会社ポニーの里ファーム

作品素材提供 うだ薬湯の宿 やたきや、株式会社花の大和、有限会社ポニーの里ファーム

主催 | 奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 共催 | 奈良県 特別協力 | 天理市
後援 | 天理市、橿原市、天理市観光協会、一般社団法人 橿原市観光協会、天理市教育委員会、橿原市教育委員会、奈良新聞社、朝日新聞奈良総局、産経新聞奈良支局、日本経済新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、読売新聞奈良支局、奈良テレビ放送株式会社、NHK奈良放送局、ならととFM、一般財団法人奈良県ビジターズビューロー

協力 | 株式会社 近鉄ケーブルネットワーク、JR西日本、天理大学、天理大学附属天理参考館、天理にアートの種をまく会、奈良交通株式会社、奈良町にぎわいの家

問い合わせ:奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局 | 〒630-8114 奈良県奈良市芝辻町 2丁H6-14 maruroom内 TEL: 090-9215-6847 | MAIL: info@hanarart.jp

はならあと 公式WEBサイト: https://hanarart.jp/

ミツクス 責任ある木質資源を産出する FSC® C020779 VEGETABLE OIL INK

design: Kengo Shimizu